

シリーズ④ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組み



大山中学校

大山中学校では、今年度の学校教育目標「仲間とともに、目標に向かって粘り強く挑戦する生徒の育成」のもと、人権教育を土台にした人間関係づくり、学力向上、生徒会活動などの『自治』活動の推進に重点を置き、取り組んでいます。

重点の一つである学力向上については、『学び合い』による学習の推進と、家庭学習の充実が柱です。

『学び合い』による学習の推進

小学校から中学校への学びが連続するよう、小学校との連携を図りながら協同学習に基づいた授業研究を進め、「みんながわかる授業づくり」に取り組んでいます。今年度は協同教育学会から講師を招いて、小中学校合同の研修会や授業研究会などを行い、『学び合い』の実践について取り組みを進めています。

また、校内では、『学び合い』を基盤とした「わかる」授業づくりと、「できる（身につく）」実感を通じた学習意欲の向上をねらって、年3回の授

業研究会を実施しています。

さらに研究部会では生徒が考えを深められるような授業や、考えを説明できるような場面の設定、より良いグループ学習につながる振り返りや相互評価の取り組みについて検討と実践を行っています。



▲校内授業研究会の様子

生徒には、折に触れグループ学習のルールを指導しながら、授業の中で『学び合い』の場を設定し、仲間と関わりながらより深い学びになる



▲1年宿泊研修でのグループ学習の様子

よう努めています。1年生は入学後の宿泊研修で、グループ学習のルールを体験することからスタートしました。

家庭学習の充実

学力向上には家庭学習の充実が欠かせません。

そこで、毎日、終わりの会の後に5分間の「フォローアップタイム」を設定しています。家庭学習の助走となるよう課題プリントに取り組み、やり残した問題を家庭に帰ってから解いて、翌朝学校で解答を確認するようにしています。

また、木曜日は部活動のない日と

して、放課後を「全校補習」にあて、重点教科のプリントに取り組んでいます。現在学習している内容だけでなく、下学年の学習内容を復習するなど、反復徹底することで確実に力がついています。

定期テスト前の放課後には、テスト対策として「ジャンプアップタイム」を設定しています。テスト範囲表の活用につながる勉強法の指導や、テスト範囲の練習問題の取り組みなど、家庭学習において何をすべきなのかを意識し、自主的に家庭学習へつながるように促しています。

4月に行った生活行動・学習活動調査では、「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合が、全国と比較するとかなり低くなっている学年もありました。学力をつけることは自信につながります。夢や希望を持って力強く前進できる生徒の育成を目指して、学力向上に取り組んでいます。

